添付資料８　各室性能表　（令和４年３月変更版）

※ 諸室の必要面積は、RWC2019ガイドライン第３章の「数量」「広さ」については適用せず、表の「諸室の面積・数量」欄の記載を適用すること。
※RWC2019ガイドライン第３章の「アクセス管理」の「管理の方法」については、国際大会の開催時など必要に応じて対応できるように計画する。
※RWC2019ガイドライン第３章の「主な備品」については適用せず、表の「特記事項 備品」欄の記載を適用すること。ただし、記載の無い室についても、各室の用途等に応じて備品を適切に整備すること。

機能	諸室等の名称		兼用諸室の整理	諸室の面積・数量			特記事項						各諸室の工事期間	官庁施設の基本的性能基準										②電気設備																③空調設備			④衛生設備		
	本要求水準書における諸室等の名称	RWC2019ガイドラインにおける諸室名		1室あたりの必要面積（㎡）	必要室数（室）	合計面積（㎡）	RWC2019ガイドラインの適用 ●：適用 －：特記事項を適用 第３章 スタジアムの諸室 条件	アクセス管理	配置についてのポイント	第3章以外（ページ）	本業務要求水準書における特記事項（RWC2019ガイドラインの記載を除く。RWC2019ガイドラインの記載と異なる記載の場合は、特記事項を適用する。）	備品	A：Ⅰ期整備が必須 B：Ⅰ期整備が基本だが一部はⅡ期整備でも可	耐火	初期消火	対漏水	防犯性	音環境	光環境	熱環境	空気環境	情報化対応	内部仕上げ	照明 照度	照明 器具種別	電源 発電回路（競技対応（３ｈ））	電源 発電回路（帰宅困難者対応（７２ｈ））	電源 UPS	電源 コンセント	電源 発電回路（競技対応（３ｈ））	電源 発電回路（帰宅困難者対応（７２ｈ））	電源 UPS	構内交換 TEL	構内交換 LAN	時刻表示	テレビ受信	通常使用系統	24時間運転系統	災害時使用系統	給排水	給湯	特殊消火
														Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ	Ⅰ Ⅱ	Ⅰ Ⅱ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ																									
(1) フィールド関連機能	フィールド	競技場（競技区域＋周辺区域）フォトグラファーポジション	－	－	－	11,256	－	●	●	17,21	・高さ1m以上の大きさのピッチ看板（LED）をスタンド席最前列のフェンスや立上り部分等に設けること。	・ゴールポスト（防護マット含む。） ・コーナーフラッグ	A	Ⅳ	Ⅱ	－	－	Ⅰ	－	－	－	－	※	※	○	－	○	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－
	大型スクリーン	大型スクリーン	－	－	－	－	－	－	－	－			A	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	吊天井	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・空中カメラシステム等、スポーツ競技、イベント時に必要な設えを施した吊り天井を設置すること。 ・キャットウォークを適正な間隔で配置すること。		A	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
(2) チーム関連機能	チームベンチ	チームベンチ	－	－	－	－	●	●	●	－	・ピッチサイドに1チームにつき13席を2チーム分、スタンド席に1チームにつき15席を2チーム分、設けること。 ・ピッチサイド用ベンチは可動式椅子でも可とする。 ・フィールド全体、大型スクリーンが見える位置に確保すること。	・ピッチサイドベンチ（可動式の場合）：26脚（13脚×2チーム） ＊軽くて動かしやすい仕様であること	A	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	チーム更衣室	チーム更衣室	－	200	4	800	●	●	●	－	・１日２試合を考慮し、４チーム分を整備すること。 ・チーム更衣室内に選手用トイレ（20㎡程度）、シャワールーム（30㎡程度）を設けること。 ・室内をメディアが撮影・放映することを想定した設えを施すこと。 ・アイスバス：２基／室を設けること。	・ロッカー・椅子：30人分／１室 ＊造り付けスポーツロッカー及び動かせる椅子を想定すること。 ・机・椅子（監督用）：４人分／１室 ・ホワイトボード：１台／１室 ・冷蔵庫：１台／１室 ＊内部が確認できるガラス張りの冷蔵ショーケース（容量200リットル程度） ・長机：４卓／１室 ＊Ｗ＝1,800mm程度 ・テレビモニター：１台／１室 ＊設置場所及び用途を考慮し、十分なサイズであること ・製氷機：１台／１室（チーム更衣室ではなく、ホーム2チーム、アウェイ2チームが共用で使用できる場所に用意することも可能とする。その場合はホーム・アウェイ各１台） ＊貯水量100kg程度 ・マッサージテーブル：２台／１室 ＊サイズ・耐荷重等において、ラグビー選手の使用を想定すること	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ	B	500	A	○	－	－	B	○	－	－	A	A	○	○	○	－	－	○	○	－
	アップゾーン（選手用）	－	－	120	2	240	－	－	－	－	・２つのチーム更衣室の間に１室設けること。 ・対戦するチームが別のアップゾーンを使用できるよう、計画すること。 ・フィールドと同仕様の人工芝とすること。		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ	A	300	A	○	－	－	C	○	－	－	B	B	○	○	○	－	－	－	－	－
	用具室	用具室	－	25	2	50	●	●	●	－	・１つのアップゾーンに対して１室設けること。 ・用具類の保管のほか、５人収容（用具係の待機）を想定すること。	・長机・椅子：2卓・6脚／１室 ＊使用しない場合の省スペース化を考慮すること	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	－	－	Ⅲ	H	100	C	○	－	－	D	○	－	－	B	B	○	－	－	－	－	－	－
	コーチボックス	コーチボックス	－	20	2	40	●	●	●	－	・可能な限り観客席からの視線を遮ること。ただしコーチボックスからフィールドや大型スクリーンへの視線の確保はこれに優先する。	・机・椅子：６人分／１室 ＊机のサイズは使用人数、用途を考慮すること ・テレビモニター：１台／１室	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ	I	500	A	○	－	－	C	○	－	－	A	A	○	－	○	－	－	－	－
(3) 運営進行機能	運営本部	運営本部	会議室と兼用可(★)	150	1	150	●	●	●	－	・２重床とすること。	・机・椅子：面積・形状・用途を踏まえ、適切な数量を用意すること ＊レイアウト変更及び使用しない場合の省スペース化を考慮すること ・ホワイトボード：３台程度（面積等により要調整） ・テレビモニター：３台程度（面積等により要調整） ＊設置場所及び用途を考慮し、十分なサイズであること ・プリンター複合機（FAX付）：１台 ・冷蔵庫：１台	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	C	750	A	○	○	－	A	○	○	－	A	A	○	○	○	－	○	－	－	－
	競技本部	－	多目的室と兼用可	150	1	150	－	－	－	－	・２重床とすること。	・机・椅子：面積・形状・用途を踏まえ、適切な数量を用意すること ＊レイアウト変更及び使用しない場合の省スペース化を考慮すること ・ホワイトボード：３台程度（面積等により要調整） ・テレビモニター：３台程度（面積等により要調整） ＊設置場所及び用途を考慮し、十分なサイズであること	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	C	750	A	○	○	－	A	○	○	－	A	A	○	○	○	－	○	－	－	－
	記録室	－	－	30	1	30	－	－	－	－	・記録員４名分の机、椅子を横に並べられる広さを確保すること。 ・場内放送室・大型スクリーン操作室・記録室が放送システム等で連携できること。 ・競技タイマー操作ができるようにすること。 ・２重床とすること。 ・中継端子盤を設けること（テレビコンパウンドまで）	・机・椅子：4人分 ＊机のサイズは使用人数、用途を考慮すること ・テレビモニター：１台 ・映像レコーダー・プレイヤー：１台 ＊フレーム単位での静止・スロー再生機能付き	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	C	750	A	○	－	－	A	○	－	○	A	A	○	○	○	－	－	－	－	－
	大型スクリーン操作室	－	－	70	1	70	－	－	－	－	・場内放送室・大型スクリーン操作室・記録室が放送システム等で連携できること。 ・競技タイマー操作ができるようにすること。 ・２重床とすること。 ・中継端子盤を設けること（テレビコンパウンドまで）		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	C	750	A	○	－	－	A	○	－	○	A	A	○	○	○	－	－	－	－	－
	場内放送室	－	－	50	1	50	－	－	－	－	・フィールドを視認できる窓は開閉可能にすること。 ・３人分の机、椅子、機材を横に並べられる広さを確保すること。 ・場内放送室・大型スクリーン操作室・記録室が放送システム等で連携できること。 ・２重床とすること。 ・中継端子盤を設けること（テレビコンパウンドまで）		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	C	750	A	○	－	－	A	○	－	○	A	A	○	○	○	－	－	－	－	－
	審判更衣室	審判更衣室	－	25	2	50	－	●	●	－	・審判用トイレ（洋式トイレ１基以上）、シャワールーム（温水シャワー２基以上）、鏡付洗面台を設けること。 ・シャワールームにアイスバスを持ち込めるように適宜スペースを確保すること。	・ロッカー・椅子：６人分／１室 ＊スポーツロッカーのようにそれぞれを兼ねるものとする。 ・冷蔵庫：１台／１室 ・長机：２卓／１室 ＊Ｗ＝1,800mm程度 ・ホワイトボード：１台／１室 ・テレビモニター：１台／１室	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ	B	500	A	○	－	－	B	○	－	－	A	A	○	○	○	－	－	○	○	－
	アップゾーン（審判用）	－	－	50	1	50	－	－	－	－	・フィールドと同仕様の人工芝とすること。		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ	A	300	A	○	－	－	C	○	－	－	B	B	○	○	○	－	－	－	－	－
	控え審判員ベンチ	控え審判ベンチ	－	－	－	－	●	●	●	－	・フィールドレベルに9人分設けること。	・長机：２卓以上 ＊Ｗ＝1,800mm程度 ・椅子：9脚 ＊軽くて動かしやすい仕様であること	A	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

機能	諸室等の名称		兼用諸室の整理	諸室の面積・数量			特記事項						各諸室の工事期間	官庁施設の基本的性能基準									内部仕上げ	②電気設備														③空調設備			④衛生設備		
	本要求水準書における諸室等の名称	RWC2019ガイドラインにおける諸室名		1室あたりの必要面積(㎡)	必要室数(室)	合計面積(㎡)	RWC2019ガイドラインの適用 ●：適用 －：特記事項を適用 第３章 スタジアムの諸室 条件	アクセス管理	配置についてのポイント	第3章以外 (ページ)	本業務要求水準書における特記事項 （RWC2019ガイドラインの記載を除く。 RWC2019ガイドラインの記載と異なる記載の場合は、 特記事項を適用する。）	備品	A：Ⅰ期整備が必須 B：Ⅰ期整備が基本だが一部はⅡ期整備でも可	耐火 Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ	初期消火 Ⅰ Ⅱ	対浸水 Ⅰ Ⅱ	防犯性 Ⅰ Ⅱ Ⅲ	音環境 Ⅰ Ⅱ Ⅲ	光環境 Ⅰ Ⅱ Ⅲ	熱環境 Ⅰ Ⅱ Ⅲ	空気環境 Ⅰ Ⅱ	情報化対応 Ⅰ Ⅱ Ⅲ		照明 照度	器具種別	発電回路 （３ｈ）競技対応	発電回路 （７２ｈ）帰宅困難者対応	UPS	電源 コンセント	発電回路 （３ｈ）競技対応	発電回路 （７２ｈ）帰宅困難者対応	UPS	構内交換 TEL	LAN	時刻表示	テレビ受信	通常使用系統	24時間連続運転系統	災害時使用系統	給排水	給湯	特殊消火
(3) 運営進行機能	選手用医務室	選手用医務室	－	50	1	50	●	●	●	－		・診察台（マッサージ台）：2台 ＊サイズ・耐荷重等、ラグビー選手の使用を想定すること ・毛布：予備も含め、必要数量を用意すること ・テーブル：1卓 ＊高めの1本脚テーブルとすること（傷口縫合時に使用） ・間仕切りパーテーション ＊診察スペースを2か所確保することを考慮した数量・仕様とすること ・鍵付きキャビネット：1台 ＊救急用機器・医薬品保管用として使用 ・机・椅子（医師用）：1卓・1脚 ・スポットライト ＊各診察台を照らすために調整可能とすること ・冷蔵庫：1台 ＊容量150リットル程度/冷凍室あり ・製氷機：1台 ＊貯水量15kg程度 ・スパインボード：1台 ＊調整固定も可能な仕様とすること ・緊急用キット ＊詳細はJRFUと協議の上決定する ・テレビモニター：1台	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	B	500	A	○	○	－	A	○	○	－	A	A	○	○	○	－	－	○	○	－
	ドーピングコントロール室	ドーピングコントロール室	－	50	1	50	●	●	●	－	・検査エリアに手洗付洗面台を設置すること。	■待機所 ・椅子：8脚 ・机（飲料等陳列用）：1卓 ・テレビモニター：1台 ・冷蔵庫（飲料用）：1台 ■検査エリア ・椅子：6脚 ＊全数のうち2脚は肘付椅子とすること ・机：2卓 ＊2名ずつ対面に座ることができる大きさとすること ・間仕切りパテーション ＊検査スペースを2か所確保することを考慮した数量・仕様とすること	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	B	500	A	○	－	－	A	○	－	－	A	A	○	○	○	－	－	○	○	－
	HIA室	－	－	50	1	50	－	－	－	－			A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	B	500	A	○	－	－	A	○	－	－	A	A	○	○	○	－	－	－	－	－
	ボールボーイ・ガール更衣室	ボールボーイ・ガール更衣室	－	30	2	60	－	●	●	－		・椅子：8人分／1室 ・机：2卓／1室 ・鍵付きロッカー：8名分／1室	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	B	500	A	○	－	－	A	○	－	－	B	B	○	○	○	－	－	○	○	－
	テレビ審判室	テレビ審判室	－	30	1	30	●	●	●	－	・競技タイマー操作ができるようにすること。 ・機材設置用の棚を設置すること。 ・中継端子盤を設けること（テレビコンパウンドまで）	・机・椅子：4人分 ＊机のサイズは使用人数、用途を考慮すること ・テレビモニター：1台	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	C	500	A	○	－	－	A	○	－	○	A	A	○	○	○	－	－	－	－	－
	スタッフ・ボランティア控室	スタッフ・ボランティア控室	会議室と兼用可(★)	50	1	50	●	●	－	－		・机・椅子 ＊至形状・用途を踏まえ、適切な数量を用意すること ＊レイアウト変更及び使用しない場合の省スペース化を考慮すること ・ホワイトボード：1台 ・テレビモニター：1台 ・鍵付きロッカー：適宜	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	C	500	A	○	○	－	A	○	○	－	B	B	○	○	○	－	○	－	－	－
	セレモニー関係者控室	セレモニー関係者控室	会議室と兼用可(★)	50	1	50	●	●	－	－		・姿見（全身鏡） ・机・椅子 ＊至形状・用途を踏まえ、適切な数量を用意すること	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	C	500	A	○	○	－	A	○	○	－	A	A	○	○	○	－	○	－	－	－
	イベント控室	－	多目的室と兼用可	適宜	適宜	1,200	－	－	－	－	・前座試合用更衣室、セキュリティスタッフ控室 及び 7人制ラグビー大会のチーム更衣室としての使用も想定し、100㎡×12室に分割可能なよう、可動式間仕切りを設けること。 ・温水シャワー（12ブース以上）、男女トイレをイベント控室の近くに共用で設けること。	・姿見（全身鏡） ・製氷機、冷蔵庫等（イベント控室の近くに共用で設ける） ・机・椅子 ＊至形状・用途を踏まえ、適切な数量を用意すること ＊レイアウト変更及び使用しない場合の省スペース化を考慮すること	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ	B	500	A	○	○	－	A	○	○	－	A	A	○	○	○	－	○	－	－	－
	多目的室	－	競技本部・イベント控室と兼用可	200	4	800	－	－	－	－			A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ	B	500	A	○	○	－	A	○	○	－	A	A	○	○	○	－	○	－	－	－
	会議室	－	（★）記載の諸室と兼用可	適宜	適宜	400	－	－	－	－	・室の分散配置は可能。 ・可動式間仕切りによる分割使用を想定すること。		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ	C	500	A	○	○	－	A	○	○	－	A	A	○	○	○	－	○	－	－	－
	倉庫	倉庫	－	適宜	適宜	適宜	●	●	●	－	・人工芝メンテナンス機器を保管する。 ・コンコース（整理誘導用ロープ、ポール等）用の備品を保管する。 ・ラグビー競技（障がい者のラグビーを含む）のほか、ラグビー以外のスポーツ競技やイベントで使用する備品等を保管する。 ・ラグビーワールドカップ2ヒに用いる倉庫は設けなくてもよい。	・ゴールポスト運搬用の保管台車 ・視覚障がい者誘導用ブロック（仮設、競技者用）	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	－	－	Ⅲ	H	100	C	○	－	－	E	○	－	－	B	B	○	－	－	－	－	－	－

機能	諸室等の名称		兼用諸室の整理	諸室の面積・数量			特記事項						各諸室の工事期間	官庁施設の基本的性能基準										②電気設備															③空調設備		④衛生設備		
	本要求水準書における諸室等の名称	RWC2019ガイドラインにおける諸室名		1室あたりの必要面積(㎡)	必要室数(室)	合計面積(㎡)	RWC2019ガイドラインの適用 ●：適用 －：特記事項を適用 第３章 スタジアムの諸室 条件	アクセス管理	配置についてのポイント	第3章以外	本業務要求水準書における特記事項 （RWC2019ガイドラインの記載を除く。 RWC2019ガイドラインの記載と異なる記載の場合は、特記事項を適用する。）	備品	A：Ⅰ期整備が必須 B：Ⅰ期整備が基本だが一部はⅡ期整備でも可	耐火	初期消火	対漏水	防犯性	音環境	光環境	熱環境	空気環境	情報化対応	内部仕上げ	照明					電源				構内交換		時刻表示	テレビ受信	通常使用系統	24時間連続運転系統	災害時使用系統	給排水	給湯	特殊消火
																								照度	器具種別	発電回路（競技対応（３ｈ））	発電回路（帰宅困難者対応（７２ｈ））	UPS	コンセント	発電回路（競技対応（３ｈ））	発電回路（帰宅困難者対応（７２ｈ））	UPS	TEL	LAN									
														Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ	Ⅰ Ⅱ	Ⅰ Ⅱ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ																					
(4) メディア 関連機能	記者席	記者席	－	－	－	－	●	●	●	－			A	－	－	－	－	－	－	－	－	－	Ⅰ	－	－	○	－	－	A	○	－	－	A	A	○	○	－	－	－	－	－	－
	プレスカンファレンス室	プレスカンファレンス室	会議室と兼用可(★)	180	1	180	●	●	●	－	・通訳ブースの常設は不要とする（国際大会の開催時など必要に応じて対応できるように計画する） ・記者会見などに対応できるよう中継端子盤を設けること（テレビコンパウンドまで）	・ステージ（組み立て式） ＊5名程度が乗れるかさ上げスペースとする ・ポータブルステージ ＊後方カメラスペース用 ・テーブル付き椅子 ＊室形状・用途を踏まえ、適切な数量を用意すること	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	C	750	A	○	－	－	A	○	－	－	A	A	○	○	○	－	－	－	－	－	－
	ベニューメディアセンター	ベニューメディアセンター	会議室と兼用可(★)	180	1	180	●	●	●	－		・机・椅子 ＊室形状・用途を踏まえ、適当な数量を用意すること ・ホワイトボード ＊室形状・用途を踏まえ、適当な数量を用意すること（2台程度） ・テレビモニター ＊室形状・用途を踏まえ、適当な数量を用意すること（2台程度） ＊設置場所及び用途を考慮し、十分なサイズであること ・プリンター複合機：1台	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	C	750	A	○	－	－	A	○	－	－	A	A	○	○	○	－	－	－	－	－	－
	フォトグラファー控室	フォトグラファー作業所	会議室と兼用可(★)	200	1	200	●	●	－	－		・机・椅子 ＊室形状・用途を踏まえ、適当な数量を用意すること ・ホワイトボード ＊室形状・用途を踏まえ、適当な数量を用意すること ・テレビモニター ＊室形状・用途を踏まえ、適当な数量を設置すること ＊設置場所及び用途を考慮し、十分なサイズであること	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	C	750	A	○	－	－	A	○	－	－	A	A	○	○	○	－	－	－	－	－	－
	フラッシュインタビューポジション	フラッシュインタビューポジション	会議室と兼用可(★)	80	1	80	●	●	●	－	・中継端子盤を設けること（テレビコンパウンドまで）		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	B	500	A	○	－	－	D	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	ミックスゾーン	ミックスゾーン	－	－	－	－	●	●	●	－	・中継端子盤を設けること（テレビコンパウンドまで）	・バイフェンス ＊ミックスゾーンの設定に応じて、必要数量を準備する	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	－	－	Ⅲ	B	500	A	○	－	－	D	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	展望放送室	－	－	40	6	240	－	－	－	－	・有効天井高2.5m以上を確保し、防音設備、２重床とする。 ・各室に中継端子盤を設けること（テレビコンパウンドまで）	・机：６卓／１室 ・椅子：18脚／１室	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	C	750	A	○	－	－	A	○	－	○	A	A	○	○	○	－	－	－	－	－	－
	コメンタリーコントロール室	コメンタリーコントロール室	－	15	1	15	●	●	－	－	・中継端子盤を設けること（テレビコンパウンドまで）		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	C	500	A	○	－	－	A	○	－	○	A	A	○	○	○	－	－	－	－	－	－
	カメラポジション	テレビカメラの設置場所	－	－	－	－	－	－	－	23	・各カメラポジションに中継端子盤を設置すること。（テレビコンパウンドまで） ・メインカメラの位置は、フィールド中央から13°の角度のスタンド席内に計画すること。	・折りたたみ椅子：100台 ＊フィールドのカメラマン用と共用	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	－	－	－	－	Ⅰ	－	－	○	－	－	A	○	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	テレビコンパウンド	テレビコンパウンド	－	1,000	1	1,000	●	●	－	－	・中継端子盤は、２社並列利用を想定し、少なくとも10m以上離すこと。 ・電源車（中継車に電源機能を持つものも含む）の排煙に対応する設備を設置すること。		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	－	－	－	－	の場合はC部	100～300	B	○	－	－	A	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
(5) 観客 関連機能	入場ゲート	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・手荷物検査、瓶、缶を移し替える作業スペースを確保すること。		B	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	－	Ⅰ	－	－	J	－	B	○	－	－	A	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	入場券売場	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－			B	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ	M	500	B	○	－	－	A	○	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－
	待機スペース	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・待機列等利用者集中を考慮したスペースを確保すること（外構に計画することも可） ・待機列が、関係者入口、搬入口と交差しないこと。 ・まちかど広場などと交錯しないこと。		B	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	コンコース	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・視認性の高い案内サインやゲート等の設元により、現在地やトイレ、スタンド席入口等が瞬時にわかるように配慮すること。		B	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ	J	100～300	B	○	一部○	－	D	○	一部○	－	－	－	○	○	○	－	－	－	－	－
	救護室	救護室	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・一般観客用として、アクセスしやすい場所に複数設置すること。	・救護用ベッド：１台／１室 ・毛布：予備も含め、必要数量を用意すること ・机・椅子（医師用）：１卓／１室 ・ストレッチャー：１台／１室	B	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	M	500	A	○	◎	－	A	○	◎	－	A	A	○	○	○	－	◎	○	○	－
	休憩室（カームダウン室・クールダウン室）	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・一般観客用として、アクセスしやすい場所に複数設置すること。		B	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	M	500	A	○	◎	－	C	○	◎	－	B	B	○	○	○	－	◎	－	－	－
	授乳室	授乳室	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・一般観客用として、アクセスしやすい場所に複数設置すること。		B	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	M	300	A	○	◎	－	C	○	◎	－	B	B	○	○	○	－	◎	○	○	－
	託児室	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・一般観客用として、アクセスしやすい場所に複数設置すること。		B	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	M	300	A	○	◎	－	C	○	◎	－	B	B	○	○	○	－	◎	－	－	－
	ベビーカー置き場	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・施設して保管できるベビーカー置き場を設置すること。		B	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	－	－	Ⅲ	J	300	A	○	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	観客用トイレ	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－			B	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	K	300	B	○	一部○	－	D	○	一部○	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－
	グッズ売店	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・分散して偏りなく設置する想定とすること。 ・待機動線が観客用トイレと近くならない配置すること。		B	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	L	100～300	D	○	－	－	※	○	－	－	B	B	－	－	－	－	－	－	－	－
	飲食売店	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・分散して偏りなく設置する想定とすること。 ・待機動線が観客用トイレと近くならない配置すること。		B	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	L	100～300	C	○	－	－	※	○	－	－	B	B	－	－	－	－	○	○	－
(6) VIP 関連機能	VIPラウンジ	プロトコールラウンジ	－	600	1	600	●	●	●	－	・VIPラウンジから直接出入り可能なVIPラウンジ専用バルコニーを設け、VIPラウンジバルコニー席を設けること。 ・ホスピタリティ施設としてふさわしい空間とすること。 ・メインスタンドに設置すること。	・快適に観戦・観覧でき、様々なホスピタリティを提供する上で、必要となる什器備品類を備えること。	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ	O	300	A	○	－	－	※	○	－	－	A	A	○	○	○	－	－	○	○	－
	観戦ボックス	－	－	30	10	300	－	－	－	－	・室内から直接出入り可能な観戦ボックスバルコニーを設け、観戦ボックスバルコニー席を設けること。 ・ホスピタリティ施設としてふさわしい空間とすること。	・快適に観戦・観覧でき、様々なホスピタリティを提供する上で、必要となる什器備品類を備えること。	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ	O	300	A	○	－	－	※	○	－	－	A	A	○	○	○	－	－	○	○	－
	貴賓室	－	－	60	1	60	－	－	－	－	・室内から直接出入り可能な貴賓室バルコニーを設け、貴賓室バルコニー席を設けること。 ・ガラスは防弾ガラスとすること。 ・ホスピタリティ施設としてふさわしい空間とすること。 ・メインスタンド中央に設置すること。	・快適に観戦・観覧でき、高水準のホスピタリティを提供する上で、ふさわしい什器備品類を備えること。 （皇族や国賓などの要人（VVIP）を迎える場合も想定する）	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ	N	300	A	○	－	－	※	○	－	－	B	B	○	○	○	－	－	○	○	－
	ＶＩＰ用パントリー	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－			A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	L	300	A	○	－	－	※	○	－	－	A	A	－	－	○	－	－	○	○	－

機能	諸室等の名称		兼用諸室の整理	諸室の面積・数量			特記事項						各諸室の工事期間	官庁施設の基本的性能基準										②電気設備														③空調設備		④衛生設備		
	本要求水準書における諸室等の名称	RWC2019ガイドラインにおける諸室名		1室あたりの必要面積（㎡）	必要室数（室）	合計面積（㎡）	RWC2019ガイドラインの適用 ●：適用 －：特記事項を適用 第３章 スタジアムの諸室 条件	アクセス管理	配置についてのポイント	第3章以外（ページ）	本業務要求水準書における特記事項 （RWC2019ガイドラインの記載を除く。RWC2019ガイドラインの記載と異なる記載の場合は、特記事項を適用する。）	備品	A：Ⅰ期整備が必須 B：Ⅰ期整備が基本だが一部はⅡ期整備でも可	耐火	初期消火	対浸水	防犯性	音環境	光環境	熱環境	空気環境	情報化対応	内部仕上げ	照明					電源				構内交換		時刻表示	テレビ受信	通常使用系統	24時間連続運転系統	災害時使用系統	給排水	給湯	特殊消火
																								照度	器具種別	発電回路（３h対応）	発電回路（72h帰宅困難者対応）	UPS	コンセント	発電回路（３h対応）	発電回路（72h帰宅困難者対応）	UPS	TEL	LAN									
														Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ	Ⅰ Ⅱ	Ⅰ Ⅱ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ																						
(7) 施設管理関連機能	管理室	－	－	200	1	200	－	－	－	－	・１階に配置すること。		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	C	500	B	○	◎	－	A	○	◎	－	A	A	○	○	○	－	◎	○	○	－
	防災センター	－	－	80	1	80	－	－	－	－	・１階に配置すること。 ・防災系の各機器を設置すること。 ・施設受付の付近に配置すること。 ・緊急時に消防隊がアクセスできるようにすること。		A	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅱ	C	500	B	○	◎	－	A	○	◎	○	A	A	○	○	－	○	◎	－	－	－
	警察指令室	警察指令室	－	30	1	30	－	－	－	－			A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	C	500	B	○	－	－	A	○	－	－	A	A	○	○	○	－	－	－	－	－
	消防指令室	消防指令室	－	30	1	30	－	－	－	－			A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	C	500	B	○	◎	－	A	○	◎	－	A	A	○	○	○	－	－	－	－	－
	運転手控室	運転手控室	－	適宜	適宜	適宜	－	●	●	－		・机・椅子 ＊諸室形状・用途を踏まえ、適当な数量を用意すること ・ホワイトボード：1台 ・テレビモニター：1台	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	C	500	B	○	◎	－	A	○	◎	－	A	A	○	○	○	－	－	○	－	－
	清掃センター	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・清掃作業員の詰所や清掃用具・消耗品の倉庫として使用する。		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	－	－	Ⅲ	P	200	B	○	◎	－	D	○	◎	－	B	B	○	－	－	－	－	－	－	－
	エントランス	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・一般観客用のほか、競技者用、運営関係者用、メディア用、ＶＩＰ用、施設管理者用等を動線を考慮した配置とすること。		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	C	100～300	B	○	◎	－	D	○	◎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	倉庫	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・成果物（JSCと詳細は協議）を保管する倉庫を設けること。		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	－	－	Ⅲ	H	100	C	○	－	－	E	○	－	－	B	B	○	－	－	－	－	－	－
	災害備蓄倉庫	－	－	21	1	21	－	－	－	－	・帰宅困難者の一時避難への対応として、都市開発諸制度活用方針に基づき適切に設けること。	・マンホールトイレ５個	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	－	－	Ⅲ	H	100	C	○	○	－	E	○	－	－	B	B	○	－	－	－	－	－	－
	JRFU連携室	－	－	100	1	100	－	－	－	－	・外部から直接アクセスできるように計画すること。 ・洗面所、トイレ、給湯室を適宜設けること。 ・詳細については、JRFUとの連携協力協定において調整すること。	－	A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ	C	500	A	○	－	－	A	○	－	－	A	A	○	○	○	－	－	○	○	－
(8) その他必要機能	設備機械室（受水槽室、消火ポンプ室、中水流通機械室、空調機室）	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・点検や将来の機器更新を容易にできるように配置すること。 ・機器の搬入等に配慮すること。		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅲ	－	Ⅲ	P	200	C	○	◎	－	E	○	◎	－	B	B	－	－	－	－	－	－	－	－
	設備機械室（熱源機械室）	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・点検や将来の機器更新を容易にできるように配置すること。 ・機器の搬入等に配慮すること。		A	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	P	200	C	○	◎	－	E	○	◎	－	B	B	－	－	－	－	－	－	－
	設備機械室（サブ変電気室）	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・点検や将来の機器更新を容易にできるように配置すること。 ・機器の搬入等に配慮すること。		A	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅲ	－	Ⅲ	P	200	C	○	◎	－	E	○	◎	－	B	B	－	－	－	○	◎	－	－	○
	設備機械室（特高電気室）	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・点検や将来の機器更新を容易にできるように配置すること。 ・機器の搬入等に配慮すること。		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	P	200	C	○	◎	－	E	○	◎	－	B	B	－	－	－	○	◎	－	－	○
	設備機械室（発電機室）	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・点検や将来の機器更新を容易にできるように配置すること。 ・機器の搬入等に配慮すること。		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	P	200	C	○	－	－	E	○	－	－	B	B	－	－	－	－	－	－	－	－
	設備機械室（MDFなど）	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・点検や将来の機器更新を容易にできるように配置すること。 ・機器の搬入等に配慮すること。		A	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	C	200	C	○	◎	－	E	○	◎	○	B	B	－	－	－	○	◎	－	－	○
	設備機械室（DS, EPS, PS, EA, OA等）	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・点検や将来の機器更新を容易にできるように配置すること。 ・機器の搬入等に配慮すること。		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	－	－	Ⅲ	F	200	C	○	－	－	E	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	テレビコンパウンド用機械室	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・点検や将来の機器更新を容易にできるように配置すること。 ・機器の搬入等に配慮すること。		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	－	Ⅲ	－	－	-	200	C	○	○	－	E	○	○	－	B	B	－	－	－	－	－	－	－	－
	サーバールーム	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・点検や将来の機器更新を容易にできるように配置すること。 ・機器の搬入等に配慮すること。		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	C	200	B	○	◎	－	※	○	◎	－	A	A	○	－	－	○	◎	－	－	○
	駐車場	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・関係者のみが使用するものとして計画すること。 ・選手バス４台分駐車・乗降スペース、VVIP専用駐車・乗降スペース、VIP専用駐車・乗降スペースのほか、運営関係者用・施設管理者用・緊急車両用の駐車場スペース、物品搬入車用の荷卸しスペース等を適切に計画すること。 ・電気自動車用充電器を2台以上設けること。		B	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	－	Ⅱ	Ⅲ	Q	75～100	C	○	一部○	－	E	○	無し	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	○
	廃棄物室（ゴミ庫）	－	－	適宜	適宜	適宜	－	－	－	－	・におい、など配慮した計画とすること。 ・ゴミ収集車が収集しやすい場所に配置すること。 ・管理用EVへの動線に配慮すること。		A	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	－	Ⅲ	－	Ⅱ	Ⅲ	H	100	B	○	－	－	E	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－
(9) 文化交流機能	スポーツ博物館	－	－	－	－	－	－	－	－	－	（添付資料３スポーツ博物館 各室性能表による）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	ラグビーミュージアム（展示スペース）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	・コンコース等の壁等を利用したミュージアムスペースを計画する。 ・詳細については、JRFUとの連携協力協定において調整すること。	－	A	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■各室性能表（凡例）

①建築

項目	凡例	説明			
内部仕上げ（参考）		主な部屋	床	壁	天井
	A	アップゾーン	フィールド同仕様の人工芝（下地構成含む）	EP塗装	素地＋グラスウール吸音材
	B	更衣室・選手関係諸室等	ゴムタイルｔ＝9.0	EP塗装	ロックウール化粧吸音板
	C	管理関連・会議室等	OA＋タイルカーペット(標準品)	ビニルクロスまたはEP塗装	ロックウール化粧吸音板
	D	記者スペース	OA＋タイルカーペット(標準品)	有孔ケイカル板＋EP塗装	ロックウール化粧吸音板
	E	イベント用控え室	OA＋タイルカーペット（標準品/制電タイプ）	有孔ケイカル板＋EP塗装	ロックウール化粧吸音板
	F	競技・運営関係その他諸室	タイルカーペット（標準品）又は、ビニル床シート等	ビニルクロスまたはEP塗装	ロックウール化粧吸音板
	G	競技・運営関係その他諸室	OA＋タイルカーペット(標準品)	EP塗装	ロックウール化粧吸音板
	H	器具庫・倉庫等	塗床	EP塗装	素地
	I	観客席・車いす席	PC段床素地	EP塗装	素地
	J	コンコース	無機系防塵塗床	EP塗装	素地
	K	コンコースWC	ビニル床シート（抗菌）	EP塗装	EP塗装
	L	コンコース売店等	無機系防塵塗床	化粧ケイカル板	素地
	M	コンコースその他諸室	ビニル床シート	EP塗装	ロックウール化粧吸音板
	N	貴賓室	石床、特注カーペット等	木製化粧パネル	木製吸音パネル
	O	VIP関連室等	タイルカーペット（上級品）	木製化粧パネル	木製吸音パネル
	P	機械室等	塗床	素地＋グラスウール吸音材	素地＋グラスウール吸音材
	Q	駐車場等	塗床	素地	素地

②電気設備

項目			凡例	説明
照明	照度		数字	必要とする室の平均照度（lx）を示す。
			※	別に定める。
	器具種別		A	天井埋込型カバー付（意匠的に配慮した照明）
			B	天井埋込型下面開放（天井直付LED照明含む）
			C	露出型、直付型（機械室など）
			D	ダウンライト
			※	別に定める。
	発電回路	競技対応（3h）	○	競技中の停電に際して競技継続のために3時間電力供を行う負荷
		帰宅困難者対応（72h）	◎	帰宅困難者の受入時に72時間電力供給を行う負荷
			○	上記◎の内容を、事業者の計画する帰宅困難者受け入れスペースに振り替えること
			一部○	上記○の内容で、対象となる部分の照明の50%を点灯
		UPS	○	無停電電源装置からの供給を行う負荷
電源	コンセント		A	・居室の場合は8㎡に二重床内ケーブル用ジョイントボックス1個以上＋OAタップ4個以上（または8㎡あたりのコンセント容量650VA、50VA/㎡） ・記者席の場合は、席にコンセント（2P15AE付×2）1個所
			B	・個室の執務室の場合は机1つにコンセント（2P15AE付×2）2個所、（またはOAタップ1つ） ・チーム更衣室、審判更衣室などの場合は、手洗い（ドライヤ用）にコンセント（2P15AE付×2）1個所
			C	・居室の場合は25㎡にコンセント（2P15AE付×2）1個所以上
			D	・コンコース及び廊下などの共用部の場合は歩行距離20mにコンセント（2P15AE付×2）1個所 ・階段の場合は2フロアにコンセント（2P15AE付×2）1個所 ・トイレの場合はハンドドライヤ用コンセント（2P15AE付×2）1～2個所 ・湯沸室の場合はコンセント（2P15AE付×2）3個所
			E	・機械室、電気室など設備室の場合は出入口にコンセント（2P15AE付×2）1個所、床上＋50㎝ ・駐車場の場合は車路部分20mにコンセント（2P15AE付×2、鍵付カバー付）1個所、床上＋50㎝
			※	その他（実負荷に合わせること）
	電源（非常用発電回路等）	競技対応（3h）	○	競技中の停電に際して競技継続のために3時間電力供を行う負荷
		帰宅困難者対応（72h）	◎	帰宅困難者の受入時に72時間電力供給を行う負荷
			○	上記◎の内容を、事業者の計画する帰宅困難者受け入れスペースに振り替えること
			一部○	上記○の内容で、対象となる部分の照明の50%を点灯
		UPS	○	無停電電源装置からの供給を行う負荷
構内交換		TEL	A	電話機の設置を示す。室用途・在室人員に合わせた回線を計画すること。
			B	各1回線のみ出入口付近に設置する。
		LAN	A	施設用LANを設置。有線LANとする場合は、在室人員に応じた回線を計画する。
			B	施設用LANを設置。有線LANとする場合は、1回線のみ出入口付近に設置する。
時刻表示			○	電気時計の設置を示す。100㎡を超える面積の室については、おおむね100㎡につき1個所設置すること。
テレビ受信			○	TVアウトレットの設置を示す。

③空調設備

項目	凡例	説明
通常使用系統	○	主に定時時間に使用する頻度が高い空調が必要な室
24時間連続運転系統	○	24時間連続して空調が必要な室　※ただし、設備機械室は、事業者の計画に応じて空調の設置を検討すること。
災害時使用系統	◎	災害時にも空調が必要な室
	○	上記◎の内容を、事業者の計画する帰宅困難者受け入れスペースの関連する室に振り替えること

④衛生設備

項目	凡例	説明
給排水	○	給排水を必要とする備品等以外に、給水設備及び排水設備が必要な室
給湯	○	手洗い（温水）やシャワー等の給湯設備が必要な室
特殊消火	○	屋内消火栓設備に代わり、不活性ガス消火設備等が必要な室